

平成15年度 日本開発工学会 シンポジウム

統一テーマ 〈産学連携〉 ベンチャーイノベーション時代における挑戦

- ◆開催日：平成15年10月30日（木曜日）
午後13:00～午後17:00
- ◆会場：日本大学会館601A会議室
- ◆主催：日本開発工学会
- ◆協賛：日本電子機器輸入協会(JEPIA) パイオニア・ベンチャーグループ(PVG)

~~~~~ 講師プロフィール ~~~~~

名古屋工業大学 学長 柳田博明 氏

今、大学は独立行政法人化、産学連携等、大きく揺れている。産業界において大学が本来担うべきものは大きかった筈である。しかし、大学が産業界に果たす役割は機能しているとは言い難く、大幅な改革が要求されている。東大先端研創設所長、環境安全研究センター長、(財)ファイナセラムセンター 初代理事長、現専務理事・試験研究所長など、数多くの先進的な技術・研究分野での革新的な要職を歴任。2000年11月1日、名古屋工業大学学長に就任、2002年7月には、同大学内に「ものづくり テクノセンター」を開設、独創的且つ大胆な改革に取り組む柳田博明学長が、これからの技術開発の方向と今まさに進めている大学改革について熱弁をふるう。

長岡技術科学大学 電気系教授 高田雅介 氏

文部科学省が推進する21世紀COEプログラムは、我が国の大学の研究水準向上と世界をリードする創造的な人材育成を図ることを目的として、重点的支援を行う制度である。「化学、材料科学」分野では、71大学82拠点が申請し、15大学、21拠点が採択された。長岡技術科学大学は、「ハイブリッド超機能材料創成と国際拠点形成」というテーマで申請し、採択された。これには、本学独自の技術開発センター制度での産学連携という背景がある。

(株)フォトニクス 取締役 嶋本 篤 氏

(株)フォトニクスは、半導体・液晶検査装置、レンズ検査装置、非接触変位計などの開発・製造・販売などを行っている。嶋本篤は1965年生(37才)、1990年長岡技術科学大学大学院修了、博士(工学)。専門は精密計測。2000年フォトニクス取締役に就任し、現在に至っている。

(株)ディー・ディ・エス 代表取締役 三吉野健滋 氏

佐賀大学卒。証券会社勤務を経て平成7年に(株)DDSを起業。平成14年より中部大学客員教授。情報技術の分野で東京大学、名古屋工業大学、中部大学、オウル大学、ピッツバーグ大学などとの共同研究を推進。またNEDO、IPA、JSTなど政府系機関との産学官連携体制を構築し、様々な研究シーズの事業化を図っている。

(株)泉 技研 代表取締役 小谷野 清 氏

1. 会社概要：横浜新技術創造館108号にて、超音波・電子応用機器の開発設計・製造。
2. 技術陣：電気・電子、情報工学、総合技術監理、超音波工学・化学・数学等の技術士・博士・学士等。
3. 商品分野：音響管方式超音波流量計・超音波洗浄機・センサー・情報制御機器等。
4. 小谷野 清の略歴：1939年7月25日生(群馬県)、技術士。
著書：海洋音響技術(共著)、海洋音響用語辞典(共著)他。
(株)日立製作所勤務(1958~1990)を経て1991.1(株)泉技研創設現在に至る。

日本電算機(株)(JCC) 代表取締役 石井孝利 氏

1976年にグラフィックコンピュータの製造販売会社として誕生。現在は放送とブロードバンドを融合させた、「iBOXブロードメディアサーバ」シリーズを販売している。当製品では、テレビ番組の視たいシーンのみを視聴可能にした新技術「マトリックスTV」を搭載した。石井孝利は27才で当社を設立し、一貫して新技術、新市場の開発に注力してきた。

五岳技研代表 代表取締役 黄澤民 氏

五岳技研は設立して10年経過した。技術分野は制御、業務、DB、科学計算系のソフト開発である。多数のシステム構築実績をあげ、その実力は大手企業からも認められ、現在日中間の重要な鎖の役割を目指している。ブリッジSEを育て、確固たる基盤を築き、「技術力」「品質」「速度」を重視する方針を守り続け、社会に必要とされる企業と成るよう日々努力している。

平成15年度 日本開発工学会シンポジウム プログラム

〈産学連携〉

統一テーマ：ベンチャーイノベーション時代における挑戦

12:30～	受付開始
13:00～13:15	開会挨拶とシンポジウムの趣旨 日本開発工学会会長 柳田 博明
<13:15～15:00> 13:15～13:20	ベンチャーイノベーション時代における挑戦 〈司会あいさつ〉 司会者：松井 好（日本開発工学会副会長）
13:20～13:40	〈基調講演〉 長岡技術科学大学における産学連携の歴史と現状 長岡技術科学大学教授 高田 雅介（日本開発工学会運営委員長）
13:40～ ～15:00	〈基本講演〉（各テーマ15分） ①超精密計測センサー開発プロジェクトにおける大学との関係 （株）フォトニクス 取締役 嶋本 篤 ②産学連携型ベンチャー企業の協業戦略 （株）ディー・ディー・エス 代表取締役 三吉野健滋 ③音響管方式超音波流量計発明のプロセス （株）泉技研 代表取締役 小谷野 清 ④“iBOXサーバ”開発モデル 日本電算機（株） 代表取締役 石井 孝利 ⑤中国精華大学における産学共同イノベーションモデルについて 五岳技研 代表取締役 黄 澤民
15:00～15:15	コーヒープレイク
15:15～16:15	〈パネル討論〉〈産学連携〉ベンチャーイノベーションをどう実現するか 各基本講演者によるパネルディスカッション 各講演者からパネル討論のポイント 〈参加者も加わり相互討議〉〈まとめ〉 司会者：SRIコンサルティングビジネスインテリジェンスINC. 副社長 土谷 庫夫（日本開発工学会理事）
16:15～16:30	「不況を克服し、経済を活性化するベンチャー・ビジネス」 ～世界技術大賞の提案～ 日本大学大学院教授 柳下 和夫 学会理事・副運営委員長
16:30～16:40	全体のまとめ 松井 好 学会副会長
16:40～16:45	閉会の辞 大江修造 東京理科大教授 学会理事
16:45～17:00	懇親会会場へ移動 学会事務局・運営委員等
17:00～18:00	懇親会開催 乾杯 学会 会長 柳田 博明

日本開発工学会 主な研究活動のご案内

◆ 開発工学研究会（定例会）

会員の研究発表や開発事例の発表を中心に、特別講義、パネルディスカッション、事例研究など、開発工学の研究探索のための研究会で、会員を対象に年2～3回開催。

◆ 開発工学研究会 情報交換会

会員相互の情報交換や親睦を図るため、パーティ形式で年2～3回開催。

◆ 見学・研修会

研究機関や企業の研究所・工場など先端的な研究現場を見学し、討議・研修する。

会員を対象に開発工学研究会の一環として随時開催。

◆ 研究部会

希望する会員によって特定の研究テーマごとに構成され、各研究会ごとに会員の研究発表、研究に必要な専門家による講義、ディスカッションなどにより、研究課題を深く究明する会で、原則として毎月1回開催。

◆ 公開講座・講演会

会員および非会員を対象に、開発工学に関する知見を広め、かつ究明するため、セミナーやシンポジウム、講演会などを随時開催。

◆ シンポジウム

会員の研究成果の発表を中心に原則として年1回開催。

◆ 機関誌の発行

機関誌『開発工学』を年1回発行。

主な既刊刊行物

- * 『開発工学入門＜理論・実践・手法＞』 1982年11月 ダイヤモンド社 A5 400ページ
- * 『創造的企画のためのソフトテクノロジー・ノウハウブック』 1987年2月
代表的なソフトテクノロジー35点を体系化し、具体的な実施例をあげて解説
- * 『ヒット商品・先端技術開発のケーススタディ』 1993年3月
A4 特製ファイル版、560ページ 創立20周年記念 限定出版

＜日本開発工学会の社会的使命＞

日本開発工学会は、
ビジネスの創造に関するすべての事柄を研究する学会です。

日本開発工学会は
研究開発、技術開発、製品開発、商品開発などを総合的なビジネスの創造につなげるために、
市場と組織との効率的な関係を探求する学術研究団体です。

日本開発工学会は
企業の利益と社会の幸福を両立させるための
“ビジネスの創造”を追求します。

具体的には
「技術と社会の調和」
「理論と実務との橋渡し」をめざします。

お問い合わせ、日本開発工学会へのご入会のお申込は下記へ

会員個人年会費 10,000円

法人年会費 150,000円

日本開発工学会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2

TEL. 03 (3352) 6077/FAX. 03 (3352) 6087

シンポジウム参加申込手続き

申込方法

下記の申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にて事務局宛にご送付下さい。E-mail の場合には、*参加者名 *所属機関名 *所属部署・役職名 *住所 *電話番号、懇親会出欠有無を明記してお申し込み下さい。参加者証は発行しません。当日受付にて参加費を徴収致します。

参加費

会 員 2,000 円

非 会 員 3,000 円

学 生 会 員 1,000 円

*懇親会参加者は実費として2,000 円追加になります。

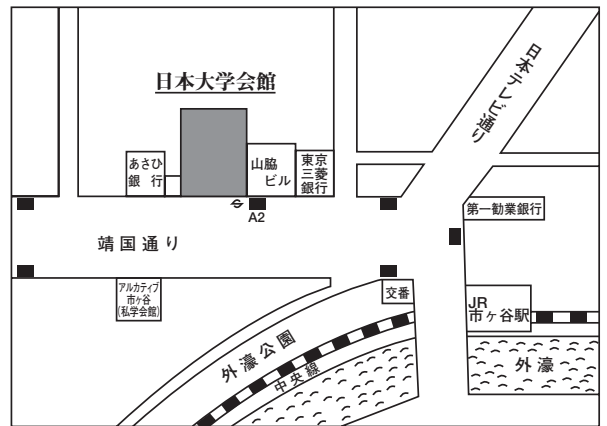
支払い方法

当日会場受付にてお支払い下さい。(領収書を発行致します。)

開催会場

日本大学会館 601A会議室
東京都千代田区九段南四丁目8番24号
電話 03 (5275) 8112番

- ◎JR市ヶ谷駅下車徒歩3分
- ◎営団有楽町線市ヶ谷駅下車徒歩3分
- ◎南北線市ヶ谷駅下車徒歩3分
- ◎都営地下鉄市ヶ谷駅下車徒歩3分



お問い合わせ先

日本開発工学会 事務局
151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2
Tel. 03-3352-6077/Fax.03-3352-6087
E-mail : taki@yoyogi.net

平成15年度 日本開発工学会 シンポジウム参加申込書

年 月 日

会社名 所属機関名				<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員
参加者氏名	所属部門・役職	〒 連絡先住所	電話番号	懇親会出欠 <input type="checkbox"/> 出 <input type="checkbox"/> 欠
				<input type="checkbox"/> 出 <input type="checkbox"/> 欠
				<input type="checkbox"/> 出 <input type="checkbox"/> 欠